

☆反帝闘争を
☆プロレタリア日本革命へ！
☆プロレタリア世界革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！
共産主義者同盟

2月13日
週刊
第212号
発行人 鹿島 昌
一部 20円

单行方阵

2·28-3·1

安保闘議集会に反戦は結集せよ！

A grainy, black and white photograph capturing a large outdoor gathering. In the immediate foreground, the backs of many people are visible, some wearing light-colored shirts and others dark ones. Several individuals in the center-left foreground are wearing prominent white hard hats. The scene extends into the background where more people are scattered across what looks like a dirt or gravel area. In the far background, there are tall, skeletal structures of what might be a building under construction or perhaps a bridge pylon. The overall atmosphere is one of a public event or a day at a significant industrial or construction site.

テモの後、赤ヘル部隊の総括集会（2月4日）

節粉碎、卒闘勝利」鬪争

しか日本が広く認めたのである。この點で、本論の主張は、必ずしも誤りではない。

「小西を、」第一波練馬基地撤去へ
全国で行動委を創出し、恒常的叛軍闘争を

の飛躍を

これは「一重の足が
經濟に踏てこじめ」
された。やがて北洋艦隊の大
軍が、二・八庚午戰國の際に
求めていたシナリヤーを
得た。當時は、まだ「中國
の船は、英國船より劣る」とい
う意見が多かったが、
そこで、英國船の船員が乗組
して、北洋艦隊の軍艦を視察的
に調べた結果、英國船の
優秀な技術が認められ、北洋艦
隊は、その技術を学ぶことによ
り、自らの船の性能を向上させ
ることに意図したのである。
そこで、英國船の船員が乗組
して、北洋艦隊の軍艦を視察的
に調べた結果、英國船の
優秀な技術が認められ、北洋艦
隊は、その技術を学ぶことによ
り、自らの船の性能を向上させ
ることに意図したのである。

七〇年代階級的労働運動の飛躍を

2.27に関東地区反戦総決起集会

1970年2月13日 第212号

17日／「小西を！」関西行動委結成大会
(大阪市立労働会館)

24日／戦軍討論集会 (場所未定)

26日／安保粉碎、沖縄闘争勝利 都・西部労学集会
(代々木区民会館、午後六時)

27日／安保沖縄闘争勝利
共進同神奈川政治集会
(6時・呉田労動会館・国際石川町下原)

社會主義學生同盟 上富士戰勝効果團結始動大、強國北關

